

2021年度 社会連携研究プロジェクト活動報告書

2022年 4月 12日

和光大学地域連携研究センター
センター長 倉方 雅行 殿

代表者氏名 詫摩 昭人 _____

研究プロジェクトの名称 和光大学と地域社会におけるアート							
研究目的 2015年に始まった、サトヤマアートサンポは黒川地域を拠点に4年間続けられました。地域住民の評判も良く、3つの自治会長の協力も得て、子供のためのワークショップも行い、地主の協力もあり、学生の作品を毎年、田んぼや竹林に展示することが出来ました。学生も日々努力をし、力作を展示し、学生自身の外界に向けた表現活動を意識させる教育機会にもなりました。 そして、2019年より大学に密着している岡上を意識したアートプロジェクトを立ちあげ、今回3年目となります。これまで得た、手法を生かし、大学のある岡上地区でも、同じようなプロジェクトを行うことにより大学・学生・地域住民・行政にも、利益が得られると考えられます。野外をフィールドとして、主に学生作品を展示することで、地域イベントとしてのアートプロジェクトを計画・実施し、その方法論の確立と、地域住民及び来訪者の意識にどの程度の変化が確認できるかを定性的に確認することで、アートと地域が出会う場を考察します。							
プロジェクト所属メンバー (氏名の右の欄に、本学専任教員=教、共同研究員=共と記入してください。)							
詫摩昭人	教	倉方雅行	教	堂前雅史	教	小関和弘	教
小林猛久	教						

研究活動の経過 (800字以内) (打ち合わせ、報告、招待講演、調査旅行などの月日、テーマ、報告者、目的地などを記入してください。) 2021年4月企画作業開始。 4月以降、学内関係各教員と打ち合わせ。5月31日学生へ作品プランと運営メンバー募集開始。6月30日運営メンバーと作品プラン募集締め切り。メンバーの確定。7月作品計画作成継続。7月29日出品学生と運営メンバー初顔合わせ。8月夏期休暇。 9月作品計画実施案作成。印刷物作成・広報活動開始。10月作品プラン詳細修正。下旬展示作業・公開へむけて設置作業。Webページの整備、更新作業。11月初め作品現場での展示作業開始。麻生区役所後援申請手続き。11月13日～11月23日作品公開。展覧会終了後、作品撤去作業。12月2日総括のための打合せ、反省会。 2020年1月記録及び報告書作成。 2月記録集編集作業。 3月6日記録集完成。

研究成果の概要（1200字程度）（どのような方法で調査、研究を行ない、どのような新知見が得られたか。またそれを今後どのように活かすことができるか、など）

岡上での開催となり、今回が3年目となります。2019年は、岡上地区の緑地や田畑の屋外に16点の作品を展示することができ、作品鑑賞ツアーも開催でき、地域の皆様にも理解を得られ、アートと地域が出会う場として好評を博しました。しかし、2年目の2020年はコロナ禍のために、大学内のみで作品を展示し、無観客として、動画配信をする展覧会となり地域との交流は行えませんでした。今回も、同じくコロナ禍のため開催が危ぶまれる中で話が進んでいきましたが、何とか少し規模を小さくしながらも、梨ノ木緑地と大学と塞の神付近の3箇所に11点の作品を展示し開催することが出来ました。サトヤマアートは毎年行っていますが、参加する学生は毎年多く入れ替わるために、学生たちにとっては一期一会のイベントとなります。中止にだけはしたくない気持ちが強くあります。

今回、新しい試みとしては、展覧会を運営するメンバーを募ったことでした。これまでは、作者を募るばかりで、その作者の中から運営する代表を決めていましたが、今回は運営メンバーを募り、その学生たち（4名の他学科を含む学生）に任せることにしました。その結果、学生間の意見交換が活発になり、作者も自主的になり作品の水準も上がりました。学生たちには作品設置の許可取得など苦勞も多くある中で、まさにアートの意義を考える機会となったことでしょう。

地域との交流の点では、大学内は、コロナ禍のために、学外の方は1日5名以内の事前予約制とし、限られた人しか見ることができませんでしたが、会期中10名の事前予約があり、遠方から予約して来られた方もおられました。一方、梨ノ木緑地は、自由に見学することができ、展覧会会期中、梨ノ木緑地でのNPO「かわさき自然と共生の会」の感謝祭と重なったため、学生と参加させていただき、交流することもできました。展覧会パンフ30部以上がすぐになくなりましたので、地域の団体とのつながりの大切さも実感しました。

まだ、コロナ禍のため、看板を立てるなどして大々的に宣伝できない中での活動でしたが、確実に認知の数は増えてきていますので、次回はもう少し、規模を大きくし、開催できればと考えています。毎年楽しみにしているなどの感想も得ており、少しずつですが、岡上地域の芸術祭として認知されつつあると考えられます。

成果の発表文献（標題、著者名、雑誌名、巻号頁、発行年等）

（発行年は厳密に2021年4月～2022年3月に刊行されたものだけに限らず若干前後のものも含めてください）

サトヤマアートサンポ2010 - 2021、和光大学表現学部芸術学科、24頁、2022年3月6日発行

※ 用紙が足りない場合は別紙を添付してください。

※ できるだけこのデータに入力いただき、Eメールでご提出ください。

※ 提出期限：2022年4月30日（土） 提出先=企画室企画係(岡本) kikaku@wako.ac.jp(企画係)